

# 誇り・味方・居場所 ——私の社会保障論



## 第9回

### 家庭的な場でぬくもりある旅立ち

サルの世界にも文化があり、若い世代から群れ全体に広がり、受け継がれていく——世界的なこの発見の端緒をつくった三戸サツエさんは、私の憧れでした。宮崎県串間市で小学校教師のかたわら、サルの観察を続け、文化の伝承に気づいたのでした。

そのサツエさんが95歳の時、脳梗塞で倒れました。病院で鼻や膀胱に管を挿入され、外さないように手足をベッドに縛られました。口を固く結んで水も飲もうとしないサツエさん。「死のうとしている」と直感した70歳の娘さんは宮崎市のホームホスピス「かあさんの家」の市原美穂さんに泣いて頼みました。







宮崎の「かあさんの家」を訪ねて感激した人々の手でホームホスピスは、全国24地域34軒に広がっています

それから2年後の2011年夏、私が訪ねた時は、サツエさんは口から食べ、笑顔を取り戻していました。

「かあさんの家」は住宅街にあるごくふつうの民家なのが特徴です。宮崎市内では4軒に増え、40人を看取りました。庭や縁側や物干しがあり、ご飯が炊き上がる香り、包丁で刻む音がします。老いや病いとともにより1軒に5人が暮らしています。昼2人、夜1人のヘルパーが交代で入ります。ナースコールはなく「気配」を察してケアします。そこに医師や看護師、歯科医、さらに、ご近所の人を訪ねます。



庭や物干しのある「ふつうの家」で

医療や介護の現場で矛盾に直面し、ここを訪ねた人たちが「こんな方法があった」「これならできそう」と、各地でホームホスピスを始めました。なごみの家(神戸市)、愛逢の家(兵庫県尼崎市)、われもこう(熊本市)、たんがく(福岡県久留米市)、オハナの家(長崎県新上五島町)、ひなたの家(兵庫県姫路市)…。

ただ、介護保険制度を超えての挑戦ゆえ、財源難が悩みです。そこへ朗報。宮崎市が「がんや認知症の人が家庭的な雰囲気の中で、最後まで安心して暮らし、安らかに看取られることのできる地域ホスピスに補助する仕組み」をこの春、発足させた

のです。

「大量死時代にそなえ、看取る場を増やそう」と、ビジネスチャンスや財政面からのみ論じる人が増えているのが気がかりです。最期まで自宅でという本人の望みをかなえたくてもかなえられない家族、そして何より、ご本人のために、「かあさんの家」のような日本人の人情にあった、ぬくもりのある場が不可欠です。

2012年4月8日、市原美穂さんからほのぼのとしたメールが届きました。〈三戸サツエさんが昨日穏やかな最期を迎えました。家族も含め、みんなが集まっていました。娘さんが「かあちゃん、よく頑張ったね、ありがとう」と声をかけると、大きくなずくように息をされ、それが最後の呼吸でした〉

サツエさんとご家族が、満足して別れの時を迎えた様子が目に浮かびます。

### 大量死時代

終戦とともにベビーブームが起き、1947年から3年間、年間出生数は約250万人を超えた。この団塊の世代が世を去る2020年から25年後に、「大量死」の時代が来ると予測されている。2009年の死者数は114万人余りだが、国立社会保障・人口問題研究所によると、2030年ごろには、4割増の163万人が亡くなると推定されている。

編集部註：本連載は、小社から刊行している『誇り・味方・居場所—私の社会保障論』(2016年3月10日発行)から選択して掲載しております。初出は毎日新聞朝刊に月1回掲載された「私の社会保障論」(2011年5月～2013年9月)です。したがって、記事中の人物・名称・活動・事物などで現在は亡くなっている方や変化している場合もありますのでご了解のほどお願い致します。

### <その後>



老いても、がんになっても、障害を持っても、家にいたいと思ったら、帰れる地域を作っていこうと、1998年、「ホームホスピス宮崎」が発足しました。

この「かあさんの家」の試みを、質をたもって全国に広げるために、「全国ホームホスピス協会」が創設されました。「ホームホ



スピス」と名乗るための実のある研修と審査の仕組みもできました。そして、現在、全国で43団体、62軒の「ホームホスピス®」が地域に根づいた活動を展開しています。来年(2022年)は、札幌市、石川県小松市、岡山県真備町、鹿児島市に開設される準備が進んでいます。

輪はさらに広がりました。医療的なケアが必要な子どもとその家族への支援が始まったのです。追いかけるように、2021年9月、「医療的ケア児支援法」が成立しました。この世に誕生してから、旅立ちのその時まで、支援できるまちづくりが目標です。

そして、サツエさん。聞き書きで『「サルたちの遺言」～サルと私の65年～』が祥伝社から2012年に出版されました。



\*単行本

<http://lifesupport-co.com/order33/books.html>

\*電子版

<http://www.shinanobook.com/genre/book/3443>

『誇り・味方・居場所-私の社会保障論』

大熊由紀子著

B6判変型 定価1,600円+税

